

こうぼ町 議会だより



旧庁舎での最後の議会を終えて...

12月定例会2P~3P
一般質問4P~8P
陳情・組合議会9P
所管事務調査10P~13P

議会のことわかりやすくお伝えします

12月定例会

一般会計5,463万円増額

予算総額 50億2,912万円に

補正予算

一般会計

歳出の主な内容

ふるさと納税報償費

1,500万円増額

農業用施設改修工事

(御机木谷水路)

1,000万円増額

除雪委託料

1,500万円増額

ふるさと応援基金積立金

3,000万円増額

木谷沢遊歩道工事請負費

1,862万円減額

特別会計

歳出の主な内容

国民健康保険特別会計

(施設勘定)

医師派遣委託料(歯科)等

261万円増額

医薬材料費等

197万円増額

介護保険事業特別会計

(保険事業勘定)

保険給付費

2,100万円増額

システム改修

145万円増額

予備費

2,036万円減額

(サービス事業勘定)

サービス事業費

13万円増額

令和2年12月定例会は8日召集され14日までの6日間と定めて開かれた。今回の定例会には一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例改正等19議案が提出された。議会ではこれらについて慎重に審議した結果、いずれも原案通り可決した。9日の本会議では5人の議員が一般質問に立ち、活発な議論が展開された。



旧庁舎

条 例

議 案	内 容
江府町議会議員及び江府町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	公職選挙法の改正により、町村における立候補環境の改善を図るため、下記の事項について選挙公営の対象とするもの。 ① 選挙用自動車の使用 ② 選挙用ビラの作成 ③ 選挙運動用ポスター
町道路線の認定について	新庁舎の施設内道路について道路法第8条第2項の規定により新規に町道として認定するもの。 ・路線名 役場線 ・延長 178m
江府町営バスの管理及び運行に関する条例の全部改正について	役場新庁舎移転による江府町公共交通の再編に伴い「町営バス」から町営タクシーを含めた「町営交通」へ名称を変更しバス等の大幅な路線・ダイヤ改正を行う。バス路線を指定していた「路線運行」から区域を指定する「区域運行」へ変更する等。
江府町役場の位置を定める条例の一部改正について	新庁舎への移転に伴う所在地の変更するもの。 江尾475番地→江尾1, 717番地1
江府町公告式条例の一部改正について	新庁舎への移転に伴い、条例の交付場所を変更するもの。 江尾475番地→江尾1, 717番地1
江府町公共建物一時使用条例を廃止する条例の制定について	江府町公共建物一時使用条例で定める南庁舎等について、新庁舎への移転及び老朽化に伴い、施設の管理が困難であるため本条例を廃止するもの。
公職選挙法による選挙運動のためにする公立学校等の使用による個人演説会開催のために必要な施設の公営に関する条例を廃止する条例の制定について	公営施設の個人演説会等について必要な事項は、公職選挙法・公職選挙法施行令及び江府町個人演説会開催手続規則、また施設ごとに使用条例が設けられており不要のため廃止するもの。
江府町公民館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	江府町公民館が新庁舎へ移転することに伴い、設置及び管理等に関する条例の以下に関する事項についてを一部改正するもの。 ① 住所変更 ② 室名変更 ③ 料金変更 ④ 料金対象時間の短縮
江府町瓜菜沢看視舎に係る指定管理者の指定について	江府町瓜菜沢看視舎の指定管理者を次のように指定するもの。 1、所在地 江府町大字御机708番地1 2、指定管理者 瓜菜沢放牧場管理組合 組合長 加藤愛敬 3、指定期間 令和3年2月1日から令和8年1月31日
江府町介護老人保健施設あやめに係る指定管理者の指定について	江府町介護老人保健施設あやめの指定管理者を次のように指定するもの。 1、所在地 江府町大字武庫475番地 2、指定管理者 社会福祉法人 尚仁福社会 理事長 祇園崇広 3、指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
鳥取県町村総合事務規約を変更する協議について	現在町村で取り扱っている事務、① 消防団員退職金支給事業 ② 消防賞じゅつ金の支給事務について、鳥取県町村総合事務組合で行うための規約改正についての協議。
鳥取県西部広域行政管理組合規約を変更する協議について	ごみ処理について、西部広域行政管理組合では、令和2年10月末をもってすべての構成市町村が広域処理に参画することとなったため、不燃物処理施設の設置及び管理運営について、境港市を含めた共同処理事務とするための協議。
日野町江府町日南町衛生施設組合規約を変更する協議について	日野町江府町日南町衛生施設組合の事務所は、江府町役場内と定めているが、令和3年1月12日の江府町役場が移転に伴い、所在地が変更となるため、規約を一部改正するための協議。

町政ここを問う

一般質問

一般質問は5人の議員が行い、町長の方針をたじた

農業行政と集落維持について



森田 哲也

動画で一般質問



森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

担い手確保に集落営農

質問 農業は、年々厳しくなっている。特に担い手不足は深刻。農地が荒れる前に、組織作りが必要。集落営農は本町の農業方針だが、進捗状況と今後の予定はどうか。

町長答弁

方針としては、農地を守って集落を維持することから、集落営農を進めていきたい。小さなグループから、大きな集団にしていき、ある程度生産性を上げていけるようにしたい。

農林産業課長

現在、宮市、杉谷、洲

森田 哲也

河崎の三地区に集落営農法人がある。そして御机で法人化に向けて取り組んでいる。ほかに、任意組織で美用、尾之上原、江尾区で行われている。

質問

少しずつ進んでいるが、各集落で緊急度の差がある。集落ごとに実態把握し、推進していくことが重要。やはり進捗状況は、遅れている印象。今後の推進計画は。

町長答弁

集落の実情もあり、同時に立ち上げることは、機械導入など問題もある。集落で進めていかれることについては、町として全力で対応したい。

質問 まず、後継者不足の問題がある。集落の人だけでなく、集落出身者も含めた取り組みが必要。また、血縁関係のない第三者経営継承も有効。担い手確保の今後の方針は。

町長答弁

一番肝心なのは、集落の話し合い。人・農地・プランをどう進めるかだと思う。

集落営農は集落維持組織

質問 集落営農は、集落維持に貴重な組織。集落維持が、町を発展させ、活性化が始まる。そこには、女性、高齢者など幅広い人材の雇用活躍の場面が出来ると思うが。

町長答弁

集落営農を進めていくうえで、女性、高齢者の存在も非常に重要なものと考えている。ただ、集落によって状況が違ってくるかと思う。

質問 高齢化と後継者不安により組織維持に苦慮。組織が連携し組織拡大が必要。ただ、集落機能維持には、緩やかな連携が自助、共助として持続可能な組織になると思うが。

町長答弁

緩やかな連携は、まさに一つの方法だと思う。今、農業経営基盤強化を促進する、基本的な構想を作成中。多様な集落営農の形を維持し、生産性の向上と集落維持構想を議論している。

農地・集落維持から人口増加策へ

質問 農地・集落の維持



注目される奥大山の水洗い珈琲豆

が、関心を寄せられる町になり、人口増加へと考える。今、本町では、BMXパーク開設など新事業が始まっている。これらと農業を絡めた事業展開が必要ではないか。

町長答弁

江府町の住民と、多様な人が江府町に来て化学反応を起こし、自分らも住んでみたら面白いぞと思う。そして、町を離れた人たちが、Uターンを考えれば。これが私の「自己実現ができる町」。現在、住宅事業を進めているが、こうした動きと合わせて加速させていきたい。



にぎわうBMXパーク

町政は思いやりと寄り添う心で



川端 登志一

動画で一般質問



川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

小規模事業者の育成と持続的支援について

質問 この度のコロナ禍における支援策での各種プレミアム付きチケット発行の効果の程はどの位あったのか？

町長答弁 宿泊あるいは食事の割引について、利用率は高いと認識している。

質問 その利用率について偏りが見られる、町として配慮が必要ではなかったか？

町長答弁 確かにその傾向はあると思うが、市民の選択なので致し方ない。他方、

市民を励ますという意味もある。事業者には持続化給付金を支給している。

質問 市民の選択肢を広げる工夫があってもよかつたのでは？

町長答弁 事業者にも更なる企業努力を望みたいと考える。



規格により大特免許が必要な農機

質問 道路交通法改正による大型農耕車の免許取得に助成事業を実施している。しかし、利用実績は少ない、PRを含め何か不足しているのではないか？

町長答弁 スピード感と当事者意識が足りなかつたと考ええる。改めたい。

質問 農業公社の在り方として、春秋の農作業を中心とするのではなく、例えば、果樹の生産、手入れ、獣害の防除、などを中心に考え、その上に春秋の作業がある様に考え方を転換する必要がありはしないか？

町長答弁 言われる通り冬場の仕事がないという問題は確実に認識している。12月中の公社職員との会議で伝えたい。

江府町新交通システムについて

質問 この度新交通システムが運用開始となるが、試験運用として町民の声を聴く期間を設けてはどうか？

町長答弁 このシステムについては地域公共交通会議の了解のもと開始となっている。したがって改正の必要があればその会議を通じて変更していく。

質問 バス利用料については小中高生や移住者の家族なども定期券利用者と同様になるように配慮

してはどうか？

町長答弁 かなり低価格に設定している。町財政を考えるとおつかしい。

質問 タクシーについても土日や祝祭日などバス運行がない時、特に子供たちや交通弱者に対して格別の配慮をするべきと思うが？

町長答弁 部活で遅くなるような子供たちに対しては、学校からの予約により今持っている定期券で利用できるようにする。



出番を待つ町営タクシー

輝ける未来は町民に寄り添って



三輪 英男

動画で一般質問



三輪議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

事業協同組合の活用方法は

質問 中小企業等共同組合法による協働組合の一つで、生産・加工・販売・購買・保管・運送・検査などの事業に関する施設などの事業を行うと規定されています。江府町でも導入に値する事業ではないでしょうか。町長の所見を伺います。

町長答弁

実は去年東京で国会議員と懇親会の際に、島根県の議員が出ておられ、この事業の発案者でした。私どもの姉妹町西の島町、こども動きを見せておりまし

たので、担当者と視察に行つてまいりました。その結果今少し調査をした方がよいではなからうかと思つており、先行事例を見ながら、導入するかどうかを判断したいというふうに考えてます。

上下水道の公共インフラは

質問 優先順位を付けた上で修繕を行うが、利用状況や将来の利用見込みを勘案しながら統廃合に努めると明言されておられますが、具体的には何からはじめられるのか、町長の所見を伺います。



洲河崎一下安井 水源

建設課長

公共インフラにつきまして説明いたします。水道事業の方ですが、現在は小江尾地内、佐川地内の配水管の布設替えを施工中です。令和元年度は大原地区の配水管の更新の計画をしています。その後施設の統廃合と致しまして、大原地区から貝田地区への接続の検討を統廃合として考えております。下水道事業につきましては、昨年、令和元年度に公共下水道江尾処理区に農業集落排水事業川筋地区の統合を行いました。将来はこの公共下水道処理区に財産処分制限期間を考慮しながら

立ち上がった集落営農に持続的支援を

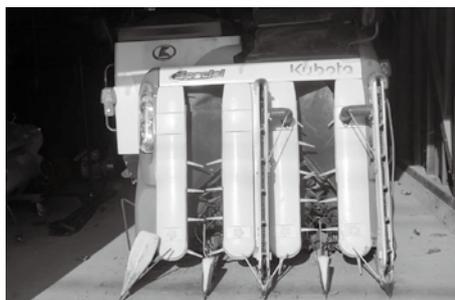
ら、宮市地区、美用地区、御机地区の接続の検討を行いたいと考えております。

質問 官民一体となつた共同の町づくりを強化し、移住者等の受け入れに積極的に取り組まれる集落にも、出来る限りサポートを行うと明言されております。集落営農の数をどんどん増やすと同時に維持をしていく面でもサポートできるような体制が絶対必要だと思いますが、町長の所見を伺います。

町長答弁

集落営農が立ち上がった後の支援をどうにかしてもらえないだろうかというお話じやなかったのかなという気はしております。これは何事につけ申し上げてはいるんですけれ

ども、やはり行政が出ていくっていうのは、自助、共助、それではどうにもならないところ、行政が出ていくものだと思います。それがやはり良きパートナーとしての役割だというふうには思っておりますので、具体的などころでどういう取組があつて、自助、共助ではとてもできないこと、ここができないというふうなことがありましたら、その事例も踏まえて提案していただければと思います。



大雪の中、春を待つ農機具

地域福祉・廃校利用・遊具の更新は？



阿部 朝親

動画で一般質問



阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

福祉における行政・住民の役割は

質問 高齢者福祉を始めとする住民全般にわたる福祉における、行政や住民の役割について所見を伺う。

町長答弁 平成28年度に策定した「江府町未来計画」の中で、福祉について、官民一緒の取り組み、町民の取り組み、事業者の取り組み、町の取り組みと、役割を分けて明示している。

質問 江府町では地域福祉計画が策定されていない。今年度には策

定すると明言されているが、現在の状況を伺う。

町長答弁 福祉保健課長に説明させる。

福祉保健課長 今年度策定に向け原案を協議中である。民生委員、児童委員の意見を伺い、必要な追加や修正を行い、パブリックコメントを求め、3月には完成予定である。

質問 福祉の関連で、来年7月にはマイクログバスが廃車となるが、利用者への今後の対応はどの様に考えておられるか伺う。

町長答弁 慰労が目的のものは難しいが、行政で必要な行事並びに老人クラブの研修等は予算措置を行う。

廃校利用について

質問 現在利用されている所以の今後の利用計画を伺う。

町長答弁 公共施設あり方検討委員会の方角性を検討。旧明倫小学校舎については、解体。旧米原分校はBMXスポーツ



旧米原分校で利用中のBMX

で利用中であるが、町に負担がかかれば廃止と考えている。その他は総務課長から。

総務課長

現在明確に使用されていないものについては、廃止・撤去の考えである。

質問 旧米原分校はBMXスポーツで利用中であるが、上下水道が使用不能となっており、今後の発展性を考えると支援をすべきと考えるが所見を伺う。

町長答弁 BMXスポーツは、東京オリンピックで公式競技となっており、競技審判や女子選手が訪れており、魅力は高いと考えている。今後、検証しながら応援をしていきたい。

※BMX…バイシクルモトクロス略で自転車競技の一種である。

子どもの遊び場対策は

質問 広場・公園の遊具は、古いものは撤去され更新がなされていない。保護者の中には子どもの遊び場に困っている方もあり、更新・新設が必要と考えるが、所見を伺う。

町長答弁 保護者からの要望も受けており、設置について必要と考える。維持管理を考え、設置に向け検討を行う。



遊具が撤去された旧明倫小グラウンド

若者の人材育成に向けて 耕作放棄地の解消の次の一手



空場 語

動画で一般質問



空場議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

桜並木、銀杏並木のイルミネーション事業は継続か？

質問 中学生議会で提案して町長が採用された「佐川の桜」「銀杏並木」のライトアップや「ソフトアイス」の開発が、一・二回の実施の後には行われてい

ません。

江府町をPRするにふさわしいアイデアと期待していましたが、継続はされていません。

良い提案は継続してこそ人材育成に繋がり、江府町の観光開発になると考えます。

来年のライトアップ事業は実現実施されるのか。

町長の所見を伺います。

町長答弁

ライトアップ事業は好評でしたので、観光協会と相談、実施するか決めたいと思います。

高校生議会開催で人材育成を

質問 町長は、中学生

議会の後に、「これから高校生になっても、地域のことに関心を持ってアイデアを出し続けて欲しい」とコメントされていました。

中学生から高校生に成長した若者たちが、江府町の町づくりの提案をする設定をしたらいかがでしょうか。

町長の所見を伺います。

町長答弁

高校生議会は、町外の高校に進学しているので、どのように招集して議場に来てくれて、質問をするところまで行けるかどうか、非常に困難を感じます。違う形で、青年団が企画して、やってみようという事であれば応援したいと思います。

堆肥を無料にして耕作意欲向上と耕作放棄地の解消

質問 最近、高齢化

等により耕作意欲がなくなり、肥料代も高くなります。

この状況を少しでも解消するため、堆肥代を無料にして、肥料経費を安くして、耕作意欲の向上を目指してはどうか。

小規模でも耕作放棄地の解消が出来るか考えるが、

町長の所見を伺います。

町長答弁

堆肥の無料化は、際限が無いので致しません。江府町の堆肥は安いので、ご理解を頂きたい。

農業支援員を置いては

質問 農業を始める人

農業を江府町でやりたくて移住して来た人に米や野菜の作り方、農地の借方等の詳細を相談出来る地域の人材を組織して、担い手の育成と耕作放棄地の解消を目指したらどうか。

町長の所見を伺います。

町長答弁

地域の実情に詳しく、農業の指導が出来る農業支援員の組織化は困難であると考えられる。農業委員で役割が担えればと考えています。



きれいな佐川の桜並木



耕作放棄地のそばの刈取

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、12月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました。

件名	提出者	審議結果
全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改革に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するとつとりの会 共同代表 石田正義 一盛真 伊藤英司	採択 (全員一致)
所得税法第56条の廃止を求める陳情書	民商鳥取県連婦人部協議会 会長 西田美津子	採択 (全員一致)

鳥取県西部広域行政管理組合報告

- 鳥取県西部圏域では、ごみ処理施設の一元化について、関係各市町村での検討結果の集約が報告され、米子市をはじめとする西部全域の市町村の参加が確認された。今後のスケジュールは令和3年2月に、参画市町村を反映した基本構想修正案を決定し、4月以降にパブリックコメントを実施し、8月に基本構想を決定、その後候補地の選定に着手となっている。
- 「桜の園」は指定管理として募集の結果「東亜・宮本グループ」が決定となり、令和3年4月1日より5年間管理することになった。
- 「うなばら荘」は、運営状況の悪化（2,500万円の赤字）により、売却に向け検討がなされている。

日野病院組合議会報告

- 組合規約の変更、職員給与に関する条例並びに会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正が行われた。
- 病院事業会計及び在宅会議支援事業会計の補正予算が可決された。
- 看護師奨学金制度により、看護師採用の6名の内2名が制度利用者であり、成果が見られた。
- 感染棟を新設し、PCR検査機3台を設置予定で、令和3年3月末までに完成予定。

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告書

- 休日を定める条例の一部改正が行われた。
- 鳥取県町村総合事務組合規約の変更が行われた。
- 組合会計補正予算（第2号）が可決された。
- 施設組合関係の3町ともごみ焼却施設の広域化計画に参加が報告された。

今回の総務経済常任委員会所管事務調査は、令和2年11月20日、町内佐川地内取得用地を含め、5か所の現地調査、3か所のヒアリングを行った。現状・調査の結果・考察は以下の通り報告する。

佐川地内土地及び建物取得箇所

工取得用地面積

5,200㎡

取得価格

30,000千円

考察

契約者の所有物の撤去については、早期の撤去を指導し、また、周辺環境も整備されたい。今後の発展的要素を多分に含んでおり、計画の住宅団地の整備の早期着工を望む。

旧大河原分校

大型の木工加工用品が放置され、周辺用地も放置状態であり、使用できる状況にない。

考察

備品・用地共放置状態であり、早期に処分し、今後の利用を早期に検討されたい。

旧米原分校

BMXパークとし



て整備されており、今後の利用が期待される。しかし水道・トイレが使用できない状態であり、県内外からのお客さんに対して、江府町の大きなマイナス要素となっている。

考察

3年かけて整備されたこのパークは、BMXコースとしては近郊にないものがあり、今後の江府町の目玉となる可能性がある。しっかりととした支援と情報提供をし、本町の大きな資源として頂きたい。廃校舎の再利用に悩んでいた本町に大きな指標を示してくれる施設である。

木谷沢渓流周辺

本町の優良観光地となっているが、近年の災害により、遊

歩道の橋梁が使用不能状況にある。

考察

本町を代表する観光地であり、その整備は喫緊の課題である。関係機関と早急に協議され復旧されたい。また、遊歩道の遊周化等による施設充実を行い、観光客の増員を図りたい。

美用堆肥センター

販売実績も上昇しており、堆肥の品質も向上している。施設の老朽化が進み、労費に負担がかかってきており、改善を要する状況にある。

考察

品質の向上に伴い、販売も上がっており、今後の有機農法の推進に期待が持てる。施設改善の時期が来ており、検討を要する。

**旧米沢小学校
(奥大山地美恵・学校施設)**

体育館・校舎に、役場備品や文化財等が保管してあるが、建物の老朽化により、文化財等の保管場所としては不適當である。また、コーヒード豆の新製品開発の準備が行われており、今後が期待される。

考察

奥大山地美恵の稼働実績はイノシシ15頭、鹿11頭であり、販売実績はコロナ禍の中で奮闘しているが、需要に答えきれない現状である。文化財等の保管については、日輪閣の再利用を検討されたい。奥大山地農業公社や奥大山地美恵の事務所、新規事業の作業所として利用する予定であり、施設改

総務経済常任委員会

所管事務調査報告書

定例会

一般質問

陳情

所管事務調査



善など、支援が必要である。

奥大山地美恵については、施設改善、財政面を含めた支援をしていくべきと考える。

道の駅奥大山

店舗の販売状況は順調に伸びている。コロナ禍の影響で4月・5月は大幅な減となったが、9月・10月には前年を上回る金額、客数となり、

順調な営業成績となっている。

考察

確かな目標設定に基づく営業方針で、順調な営業成績となっている。また、「直売所みちくさ」や「奥大山地美恵」との連携による地元産品の販売、消費など、農業振興や人口増加策にもつながるよう、行政がしっかりと連携・支援をされたい。

NPO法人

ことうふのたより

全集落の「空き家現地調査」を実施。空家数は225戸、その内バンク登録は49戸、入居中25戸、すぐ使用できる空き家は、1戸しかない。移住定住相談回数は287件、以前の132件の2倍以上となっている。移住者の件数は、昨年は4戸であった。おためし住宅の管理運営、移住者のサポート、ファンクラブへの支援、ふるさと納税の返礼品開発。起業支援の、「BMXパーク」と、「奥大山水洗い珈琲」など、新規事業が県外でも注視されている。

考察

空き家対策は人口増加には重要な事業である。空き家の確

保方法また、移住定住相談者が本町に関心を持ってもらえる方策を、最重要施策として多方面から検討されたい。さらに、起業支援をしてきた「BMXパーク」と「奥大山水洗い珈琲」については、貴重な資源となるよう、行政としっかりと連携を取り合い、最大限の支援をされたい。

江府町財政推計

(基金残高のみ掲載)

- 令和2年度
・年度末基金残高
15億1千4百万円
- 令和7年度
・基金残高
12億6千3百万円
- 令和11年度
・基金残高
5億5千7百万円

考察

歳入は、固定資産税の減少が見込まれ、

地方交付税も人口減が影響し減少が見込まれる。しかし、地方税の減収との兼ね合いで地方交付税は、不確定である。このように、歳入は不確定要素が多いが、ふるさと納税など、増収の要素もある。新しい財源確保は今後の重要である。また、歳出は今後大型事業の予定はないが、インフラ施設の修繕が見込まれ、財源確保には常に研究することが望まれる。基金は、11年度で5億5千7百万円の予定だが、今後の事業実施、人件費について、節約と優位な財源確保がさらに重要になってくる。今後も厳しい財政状況が予想されるが、さらなる創意工夫をされた財政運営を望みたい。

今回の教育民生常任委員会所管事務調査は、令和2年11月17日、町内小学校、中学校ほか5か所で行った。現状・調査の結果・考察は以下の通り報告する。

江府小学校



子供の国保育園

現在児童数は83人である。推移の予測では令和5年の91人をピークに減少に転じる。

授業においてはICTを活用し効率を上げていく。今年度中にギガスクール制度の適用により児童にiPadが配備される。

少しずつであるが増える要因として自然環境を魅力と捉えたUターン家族児童もいる。また新しい校名も好感を得ている。

英語の取り組みは5年生でA-Zが完全に書けることを目標としている。また英会話力についてはALTの活用でも効果を上げている。

考察

義務教育学校移行に向け職員室間モニターテレビの設置などを早期に協議し、またプールの改修については、保育所の移転場所と併せ慎重かつ迅速に検討されたい。全体的にIT機器やALTを活用し活発な授業風景であった。課題として令和4年に迫った義務教育学校開校に向け全校一丸となり準備を進め、教育目標の実現に取り組まされたい。

子供の国 保育園

園児数は令和2年度込みで63名である。令和3年度においては64名の見込みである。受け入れ年齢の引き下げにより若干名であるが利用増となっている。

遊びきるための保育環境の整備として、各保育室に工夫を凝らし園児の成長に配慮している。

夏の整備作業中まむし一匹を発見駆除したが、通年に渡り注意すべきである。

給食は園内の設備により供給しているが、未満児などにも対応したメニューがあるため小中の給食との合併は困難である。

考察

コロナ禍で交流事業が制限されても園

江府中学校

児たちは明るく元気に活動している。法定の職員数は満たしているが予定外の事態には対応できていないため職員の補充が望ましい。また合わせて職員用福利厚生のための施設も、充実しなければならぬ。

令和2年度の生徒数は40名である。

校舎は7年を経過したが、整理整頓をされれば当初の景観を維持している。校舎を磨く会などの活動が実を結んでいると思われる。

生徒数に対してクラブ活動は盛んで優秀な成績を上げている。しかし、町営バスの減便により活動時間が制限されその負担は保護者に及ぶ

教育民生常任委員会

所管事務調査報告書

定例会

一般質問

陳情

所管事務調査



江府小学校

でいる。
不登校生徒はいない。しかしながらいじめ事案があり撲滅宣言を発する状況となったが、その過程に於いて生徒たちは自ら行動してこれを解決した。

考察

職員数は、向う数年は充足するがクラブ活動の指導に於いては、外部に依存するなど格段の配慮が必要と思われる。い

ずれにしても生徒及び教職員に良い方向となるよう努められたい。

いこいの広場 らんちゅう

当施設は地域密着型通所介護施設であり、開設からすでに8年を経ようとしている。

人員の受け入れは一日18名で対象者は要支援1・2・3に該当

するものであるがその他、医療支援にも対応している。

活動状況は脳トレ・クラブ活動・機能訓練・各種行事・レクレーションを実施している。

考察

8年の実績において地域では必要不可欠な施設となっている。また、利用者の介護度は改善している。これは脳トレや機能訓練の効果と考えられる。課題としては安定した利用者数の確保にある。今後は多数在籍する看護師を活用した特色ある経営に活路を見出し、更なる地域の福祉に貢献することを望みます。

江府町社会福祉協議会

職員数及び就労状況は、正職員2名嘱



江府中学校

託職員3名で活動し、独自の給与規定や就業規定を設け処遇改善に努めている。

事業実施項目としては地域福祉活動のための啓発活動、小地域ネットワークの形成、在宅福祉サービスの充実及び開発に努めている。また、福祉教育推進校の活動支援や子供サロンも実施している。新規事業として買

い物支援サービス事業を12月より開始する予定である。

課題としては活動車両の更新、人材の確保である。

考察

ボランティアの登録と活動支援並びに住民相互による支え合い活動の推進、配食サービス、健康づくり、認知症予防対策事業の実施等引き続き努力されたい。

私のひと言



米子市在住 上代 伸也

恩返し

江府町に生まれ40年が過ぎました。今現在訳あって江府町を離れておりますが、佐川に居を構える住田組という建設会社にお世話になっております。会社の「地域住民のために」という考えの元、冬季には町道の除雪、また災害時には日時を問わず出勤し江府町の復興と発展に会社共々微力ながら協力させていただいております。

昔から小規模ではありませんが家族でお米の栽培をしておりますが、10年前に父が他界しその圃場を受け継ぐことになりました。小さな頃から手伝いはしていましたが一からの栽培となると想像以上に難しく何をどうしていいか解らない状態でした。そんな時手を差しのべてくれたのが先輩農家の方々でした。質問すれば快く教えてくれたり、通りすがりに指導していただく事もありました。何となく70代、80代の方々がとても元気で作業されている姿を見ると自分も負けてられないなという気持ちになります。沢山の友達に助けただけなければ何もできなかった自分、先輩やJAの方々の指導の元少しずつではありますが「美味しい」と言ってもらえる米作りが出来るようになってきました。本当に感謝しております。これからは助けていただいた方々に恩返しができるよう先輩方と共に子や孫、その先の代まで美しい稲穂が広がる江府町であるよう協力し農地を守っていききたいと思っております。しかし近年取水水路などの老朽化が進み破損や水漏れが問題視され、小さな組合の力では維持が難しくなってきました。行政には見える所ばかりでなく見えない所まで目を向けていただき専門的な意見やアドバイスを頂けるような政策を期待しております。

自分の居場所



佐川 住田 信子

江府町での私の生存は97年になります。よくぞまあの年まで生きてきたものと我ながら感じています。私の生涯で一番思い浮かぶことの一つに大東亜戦争に關してのことがあります。それは19歳の春3月、大戦も負け戦に色濃い頃、日野郡で結成された女子挺身隊という名前の奉仕団に参加した事です。1か月の職場体験を受けて川西航空製作所の各部署に配置され、日夜分かつた生産に励んだこと。不安と緊張の毎日でした。ひっきりなしに鳴り響くサイレンに防空壕に身をすくめ故郷を思い肉親に想いを抱き涙したこ

と、今なお忘れることはありません。その内に慣れない体勢で作業したせいか脚にうみが溜まり手術が必要になり、川西の病院でとなりますが許可を受けて故郷に一時帰郷。帰って遠藤医師により手術を受けて家で療養。元気になり8月の終戦を迎えました。1年余りの航空機製作所での生活は私にとっては大切な思い出になりました。終戦、結婚して二児の母となり喜怒哀楽も数知れず知りました。江尾村も江府町に変わり、現在診療所も出来て武地医師の診察を受けどうにか健康を保ちながら日々過ごしています。

少子化の呼び名にも一抹の寂しさを思い、小さな子供の嬉々とした声も聞けなくなってしまう昨今。時代だから仕方がないと言いつつ、よいものだろうかと考えさせられます。そして私自身家族の愛を受けながら余生を送りたいと願っております。コロナの終息を願いつつ。



64年の歴史をきざんだ古い役場に代わり、新庁舎の竣工式が12月26日にありました。

1月12日から仕事開始となりました。

新しい役場を、これからの江府町の町づくりの拠点として、町民が集う場所にしていくことを望みます。

一方、コロナ感染症は終息の状況が見えてきません。新たな処方箋が求められ、ワクチンによる防止策が早く実施されることを望むところです。

人口減少が急速に進む中、「チーム江府」でまとまって、問題解決をしていきたいものです。

空場 語

広報公聴常任委員会

- 委員長 三好 晋也
- 副委員長 阿部 朝親
- 委員 三輪 英男
- 委員 空場 語

川端登志一